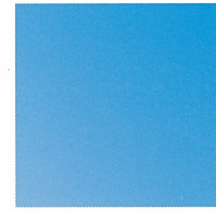


ISSN 1348-7558

滋賀医科大学附属図書館

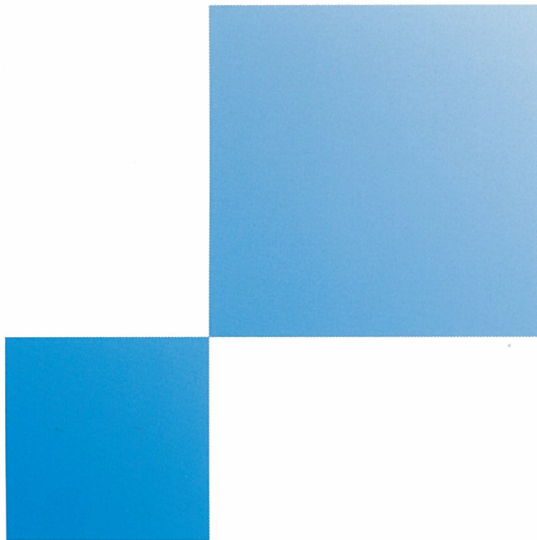


0902325997



# 滋賀医科大学看護学ジャーナル

Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science  
JN-SUMS



Vol. 8, No. 1, 2010

滋賀医科大学医学部看護学科

# 目次

－巻頭言－	1
編集委員長 畑下博世	
－総説－	
地域包括支援センターの役割と可能性	4
－高齢者の地域生活とソーシャル・インクルージョン－	
上野善子・金城八津子・植村直子・畑下博世	
Fibrodysplasia ossificans progressiva 研究の最近の知見と看護的課題	9
－FOPの遺伝子研究と看護に関する文献－	
桑田弘美・白坂真紀・桑田一夫	
－研究報告－	
看護師が捉えた精神科個室病棟における看護実践上のメリット・デメリット	14
井手敬昭・片岡三佳・橋本麻由里・吉野久美子・山内美代子・瀧川 薫	
アメリカ合衆国のサブスタンス・アブ्यूズ	18
－チャイルド・マルトリートメント問題の文献検討による研究動向と背景－	
上野善子・金城八津子・植村直子・畑下博世	
高齢者が運動自主グループを立ち上げた背景と継続参加する要因	22
－地域における自主グループ活動の意義－	
植村直子・畑下博世・金城八津子・上野善子・鈴木ひとみ	
日本の医学論文に見る生体肝移植の発展過程	26
－テキストマイニングによる経年トレンドを探る試み－	
倉田真由美・瀧川 薫	
看護学生のプレパレーション演習レポートの分析	30
－腰椎穿刺を受ける子どものプレパレーション－	
白坂真紀・桑田弘美	
認知症高齢者との交流場面における看護学生の心理的特徴	34
－プロセスレコードによる内容分析－	
中野雅子・徳永基与子・西尾ゆかり	

高齢者看護学実習における4日間の学習の特徴……………	38
－回復期リハビリテーション病棟実習記録より－	
西尾ゆかり・岩佐文代・岸友里・森みどり・横井沙智子・岡田みのり・田中冴子 橋村宏美・太田節子	
子宮摘出術後の腹圧性尿失禁にサポート下着が有用であった1症例……………	43
二宮早苗・岡山久代・正木紀代子・森川茂廣・遠藤善裕	
本学助産師課程専攻学生の分娩介助技術の達成度……………	47
－平成21年度における自己評価得点からの検討－	
能町しのぶ・正木紀代子・岡山久代・渡邊浩子	
滋賀県の一地区における脳卒中救急搬送の実態……………	51
盛永美保・荻田美穂子・加藤みのり・吉田裕子・小河望・山添祐司・宮松直美	
要介護高齢者の在宅介護を支えるもの……………	55
－家族介護者へのアンケートおよびインタビューより－	
山口豊子・福嶋正人・芝山江美子	
－資料－	
回復期リハビリテーション病棟におけるADL共有シート活用の実態調査……………	61
岸友里・田中冴子・小見麻里子・森みどり・原田奈々・高田直子	
「基礎看護学実習Ⅱ」における技術習得状況……………	65
－平成21年度「基礎看護学実習Ⅱ」の看護技術確認表から－	
高田直子・遠藤知典・新井龍・作田裕美・坂口桃子	
－投稿規程－……………	69
－編集後記－……………	75
編集委員 山口豊子	

## 「滋賀医科大学看護学ジャーナル」投稿規定

I 本誌の和文名称は「滋賀医科大学看護学ジャーナル」、  
英文名称は“Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science” (JN-SUMS)とし、  
原則として1年に1回発行する。

II 本誌発行の目的は次の通りとする。

1. 看護学の学術的な発展に寄与する。
2. 研究発表の場を提供するとともに、学際的な共同研究活動を促進する。
3. 研究・教育活動の成果をひろく社会へ還元する。

III 掲載される原稿は次の通りとする。

看護学ならびに看護学に関連する研究領域で、次の範囲に含まれるものとする。  
投稿原稿は未発表で、かつ二重投稿していないものに限る。

1. 原著論文：独創的で新しい知見を含むもの
2. 研究報告：研究として報告し記録にとどめる価値のあるもの
3. 総説、論説：研究の総括、文献についてまとめたものなど
4. その他：看護学に関する意見、提言などで紀要編集委員会が適切と認めたもの

V 投稿資格

本誌の目的に合致しており、本学教員が関与した論文であることとする。

V 掲載の決定

原稿の種類と投稿論文の採否は、査読者の意見を参考にして編集委員会が決定する。  
査読者は2名とし、編集委員会が依頼した者が当たる。

本誌に掲載された全論文の全ての著作権(著作権法第27条及び28条に規定する権利を含む)は、  
滋賀医科大学に帰属する。

VI 執筆要領

1. 原稿提出時：製版用原稿3部を提出する。フォーマットは別紙参照。  
3部のうち1部は原本、2部は著者名と所属を除いた副本とする。  
なお、投稿論文枚数は以下の通りとする。  
原著論文：6枚以内、総説・論説、研究報告、その他：4枚以内。
2. 原稿提出時には、以下の事項を記載した用紙を添付する。
  - 1) 表題 (和文と英文)
  - 2) 著者名と所属部署名
  - 3) 希望する原稿の種類 (原著論文、総説・論説、研究報告、その他)
  - 4) 図表および写真などの枚数
  - 5) ランニングタイトル (30字以内)
  - 6) 必要な別刷部数
  - 7) 連絡先 (E-mail アドレスと電話)

3. 原稿は原則として次の順序でまとめる。
  - 1) 表題（ただし副本2部には著者名と所属部署名は記載しない）
  - 2) 和文抄録：400字程度
  - 3) キーワード：5語句以内
  - 4) まえがき
  - 5) 本論
  - 6) むすび
  - 7) 文献
  - 8) 原著論文の場合：英文タイトル、英文著者名、英文所属名、英文抄録（250語程度）を文末につける。
  - 9) 英文キーワード：5単語以内
  - 10) 図表と説明文：図表および写真は必要最低限とし、図1、表1、写真1などの簡潔な表題をつける。
4. 謝辞をつける場合は、査読段階では別紙にまとめる。
5. 文字と表記については以下の通りとする。
  - 1) 外来語はカタカナで、外国人名や適当な日本語訳がない言葉は原則として活字体の原綴りで書く。
  - 2) 略語は初出時に正式用語で書く。
6. 英文抄録は、原稿提出前にできるだけ専門家（ネイティブスピーカーが望ましい）による英文校正を受けることとする。

## VII 文献の書き方

文献は、本文中の引用順に該当箇所の右肩に1)、2)と上付で番号を付し、本文最後の文献欄に引用順に一括して記載する。なお、著者名はすべて記載する。

### 例：【雑誌の場合】

- 1) 滋賀太郎, 瀬田花子: 高齢者のストレスの特徴とメンタルケア. 日本老人看護学会雑誌, 8(3), 55-61, 2003.
- 2) Riggio R. E., Tucker J.: Social skills and deception ability. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 13, 568-577, 1987.

### 【書籍の場合】

- 3) 滋賀太郎: 臨床看護学ハンドブック. 23-52, 朝日書店, 大阪, 1995.

### 【編集者の場合】

- 4) 大津浜子: 非言語コミュニケーションを用いた看護. 滋賀太郎, 瀬田花子 (編): 臨床看護技術 II, 111-126, 日本看護技術学会出版, 東京, 1998.
- 5) Otsu H.: An approach to the study of pressure sore. In Suzuki Y., Seta H. (Eds): *Clinical Nursing Intervention*, 236-265, Nihon Academic Press. New York, 1966.

【電子文献の場合】

6) ABC 看護学会：ABC 看護学会投稿マニュアル，2003-01-23（入手日）

<http://www.abc.org/journal/manual.html>

VIII 最終の製版原稿の提出方法

1. 著作権譲渡同意書について、所定の様式により共著者全員の署名押印を添付する。
2. 査読者および編集委員会の指摘点を検討して修正し、製版した論文原稿のプリントと論文のファイルをフロッピーディスク（FD）、MOまたは USBフラッシュメモリーのいずれかに入れて提出する。FD、MO、USBには筆頭者氏名、パソコン機種 OS名、ソフト名を添付する。
3. 原稿は「製版原稿とFD（MO または USB）在中」と朱書きした封筒に入れて提出する。
4. 原稿の提出先ならびに問い合わせ先  
滋賀医科大学医学部 看護学科事務室気付  
「滋賀医科大学看護学ジャーナル」編集委員会  
Tel：077-548-2455

IX 校正

初校のみ著者がおこなう。

X 著者が負担すべき費用

1. 別刷は実費にて作成することができる。
2. 規定の枚数を超過した原稿・図表・カラー写真など印刷上特別な費用を必要とした場合は、著者負担とする。
3. 同一の筆頭著者による複数投稿は原則として認めないが、編集委員会が掲載する価値があるものと判断した場合は認めることとし、原則として予算を超過する経費は著者負担とする。

附則：この投稿規定は、平成17年4月1日から施行する。

平成18年4月一部改定する。

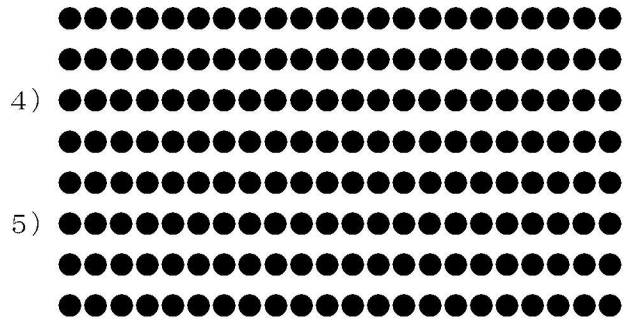
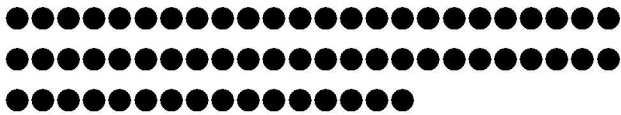
平成19年9月一部改定する。

平成20年2月一部改定する。

平成20年7月一部改定する。

平成21年6月一部改定する。





文献

- 1) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- 2) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- 3) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

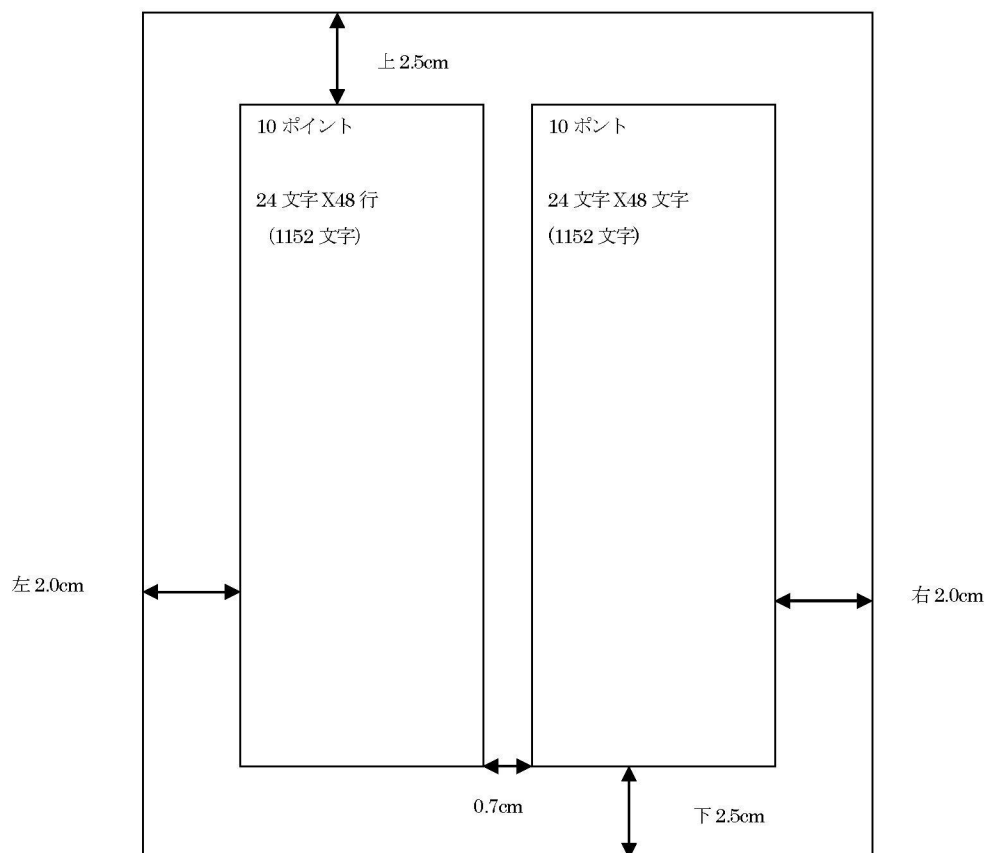
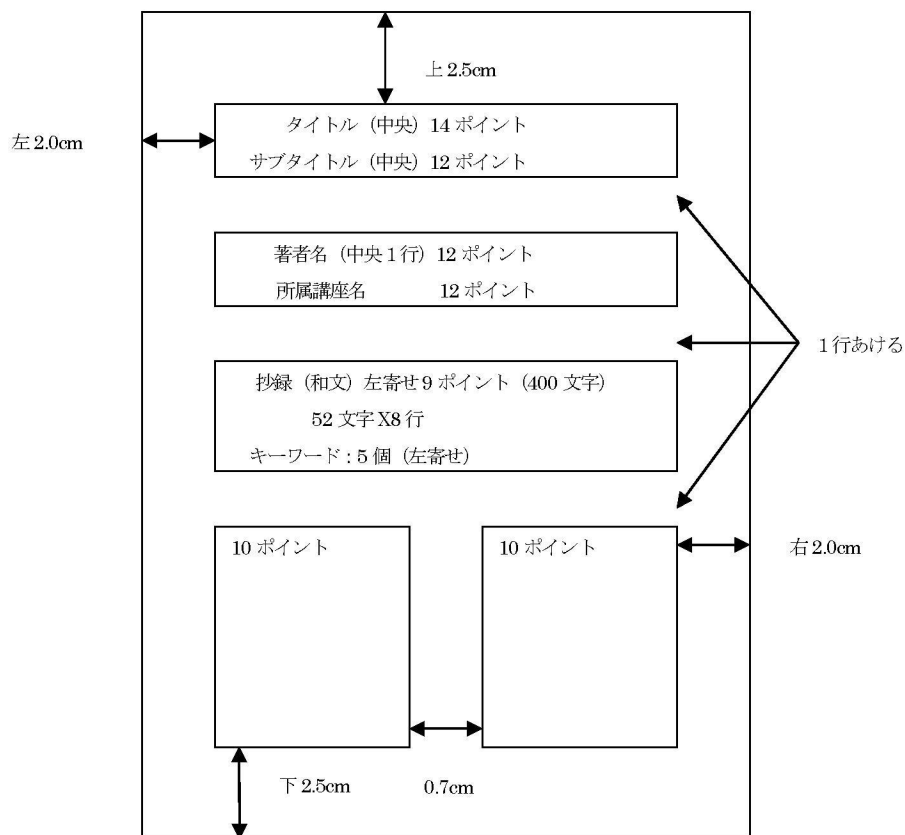
- 4) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- 5) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

注意

1. 使用ソフトはWordか一太郎が望ましい。  
その他のソフトに関しては要テストとなります。(PagemakerはOKです。)
2. 1ページに数行だけはみ出す場合は、前ページの行間を調整してそのページに収めてください。
3. できるだけ最終ページの左右カラムの長さを揃えてください。
4. MS明朝以外のフォントを使用すると文字間が自動的に詰まる文字があり、各行の文字数が均一でなくなる  
事があります。できるだけMS明朝を使用してください。
5. 画像を挿入したデータで入稿の場合は元の画像データ、または写真を添えてください。
6. フォーマット済みの原稿ファイルとしてご提出下さい。



別紙2  
写真印刷フォーマット



滋賀医科大学看護学ジャーナル  
第8巻 第1号

平成22年3月1日 印刷

平成22年3月15日 発行

発行所 滋賀医科大学  
〒520-2192  
滋賀県大津市瀬田月輪町  
TEL 077-548-2111(代)

発行責任者 馬場 忠雄

印刷所 宮川印刷株式会社

ISSN 1348-7558



**Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science**  
**JN-SUMS**

**Vol. 8, No. 1, 2010**

**Shiga University of Medical Science, Faculty of Nursing**